

熊野川緊急対策特定区間の 実施状況について

近畿地方整備局

紀南河川国道事務所

熊野川改修事業(緊急対策特定区間) 事業工程

○平成29年度からは、熊野川のさらなる治水安全度の向上と浸水被害の軽減を図るため、「緊急対策特定区間」を設定し、概ね5年間で重点的に河道掘削等を実施します。
 ○それにより、熊野川水位の影響を受ける相野谷川において浸水被害の軽減を図ります。

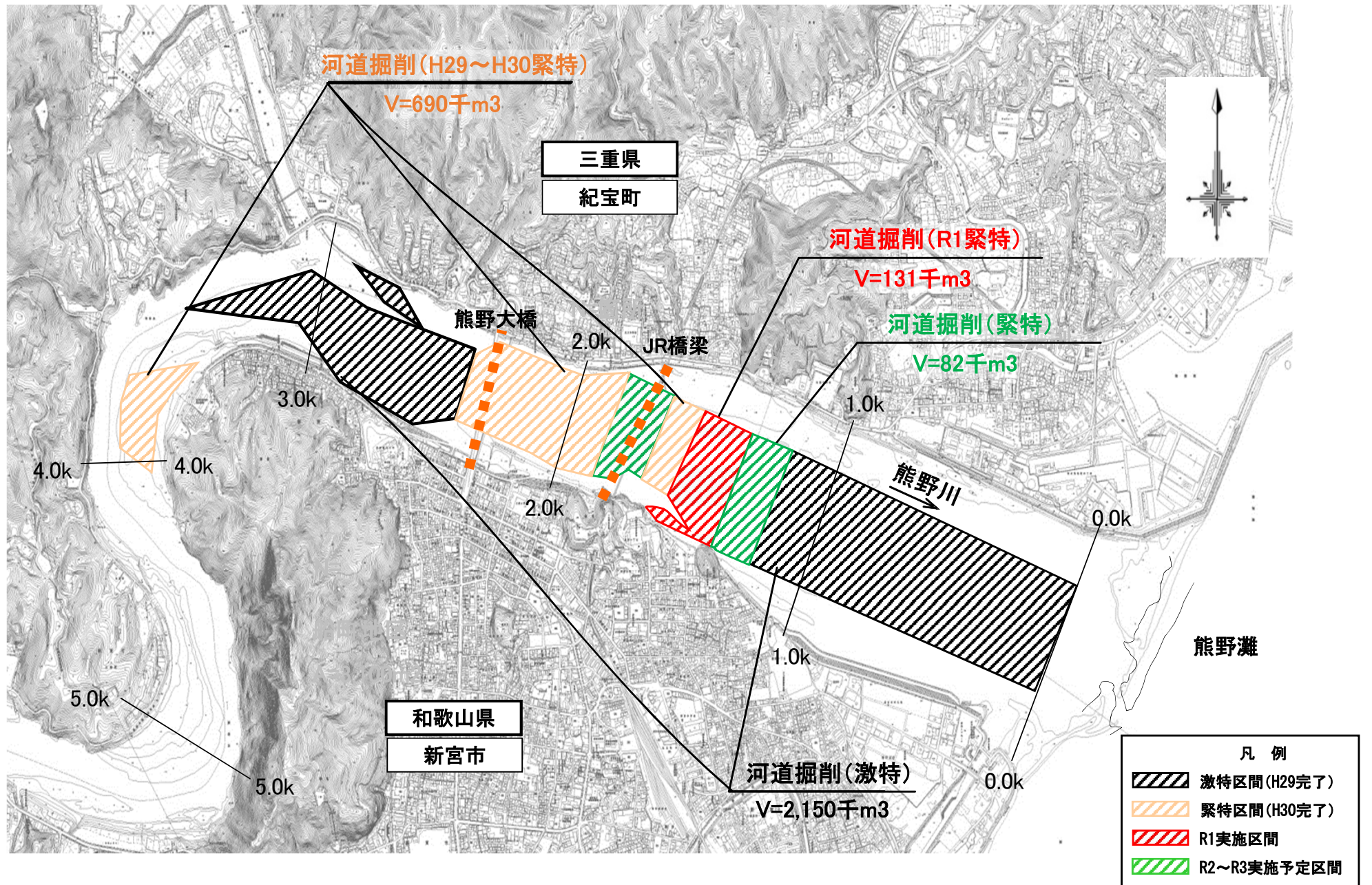
事業内容(熊野川)



緊特工程表

	数量	H29	H30	H31	H32	H33
河道掘削	約90万m ³					
JR橋脚補強	1式					

熊野川河道掘削実施状況



※予算ベース

掘削土砂の有効活用（七里御浜【井田地区】海岸侵食対策）

○河道掘削において発生した土砂は、ふるい分け後に七里御浜（井田地区海岸）の三重県の海岸侵食対策に活用しています。（平成31年4月末時点の搬出量：約70万m³）

海岸侵食対策前



海岸侵食対策状況



掘削土砂の有効活用（王子製紙跡地（津波避難地））

○新宮市による津波避難地整備を連携して実施。避難地の基盤整備に河道掘削土砂を活用しました。
(搬出量:約2万m³)

整備前



整備後



新宮川水系の治水事業（土砂の有効活用）

○掘削した土砂は、南海トラフ巨大地震による津波等に備えた防災施設への活用として、紀宝町成川地区へ約5万m³を搬出。



成川地区高台 竣工
高台の竣工を祝してテープカットする関係者=29日、紀宝町成川



2017年度から整備を進めてきた紀宝町成川の成川地区高台が完成し、29日、竣工式があった。

高台は海拔約47mにあり、防災対策用地として14年度に約2000平方mの一次避難広場、防災クマノザクラを植樹する濱地宏枝・成川区長（左）ら

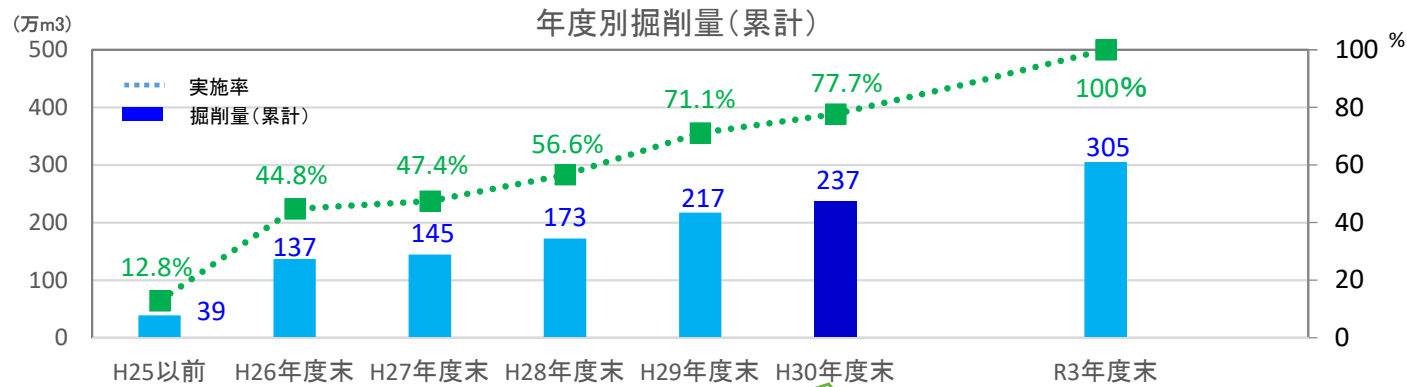
来賓祝辞の後、竣工を記念してクマノザクラを植樹した。濱地区長は「高台は災害時に仮設住宅が建設されると聞いた。避難場所としても使えるので、心配事が一つ減った」と話していた。（大崎克斗）

成川地区に高台整備 災害時の活用や交流の場に 紀宝町



河川整備による事業効果(令和元年8月の台風10号に対して河川整備が効果を発揮)

- 令和元年8月の台風10号洪水(約11,000m³/規模)では、熊野川本川の水位を約1m低下させ、計画高水位にせまる洪水を安全に流下。
- 支川相野谷川の水位を約1m低下させ、輪中堤からの越水を回避しました。



令和元年8月
台風10号
流量：約11,000m³/s※
※流量は速報・推定値

H31年3月末時点の事業効果

